

2014年フェイスブック共有リンク

【7月】

制約条件を弁えるのが大人の階段を上ること。だけど。

<http://www.zkaiblog.com/histaff/52842>

仕事で一番偉いのは「最初に案を出す人」

<http://bizmakoto.jp/makoto/articles/1407/03/news014.html>

育成すべき資質・能力を踏まえた教育目標・内容と
評価の在り方に関する検討会－論点整理－【主なポイント】
(平成26年3月31日取りまとめ)

http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2014/06/03/1346335_01_1.pdf

『男女の違いを表した10の画像』が笑える

<http://virates.com/funny/0612055#2>

疑似反転授業形式で学ぶ「反転授業」

<http://www.slideshare.net/facultasjp/140628-allkantoedfesta-flippedclassroom>

「何とかしてあげたい」ではどうにもならない。「何とかしたい」と求めてきて初めて、何とかなる。

<http://ameblo.jp/naocchi2004/entry-11849624098.html>

【遷移をどう扱うか 高校と研究現場での違い】

<https://app.simplenote.com/publish/6W7VC1>

うつ病になりにくい人ってどんな人？共通する6つの傾向

http://spotlight-media.jp/article/38094239407002177?utm_source=fb_share&utm_medium=pc&utm_campaign

日本を離れたザッケローニ監督が日本に向けて書いた手記が泣ける。

<http://temita.jp/meigen/3642>

社会人生活にメリットとなる、定期的に話しておくべき 5 人の相手

<http://www.lifehacker.jp/2014/07/140713bettercareer.html>

「理想的な昼寝」を科学する

<http://www.lifehacker.jp/2012/10/121023scienceofnap.html>

弱者を抹殺する。不謹慎な質問ですが、疑問に思ったのでお答え頂ければと思い...

http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1463546664

私を二郎に連れてって

<https://www.youtube.com/watch?v=zYup3isALrA>

「相手に過度に合わせる」と、入試も就活も恋愛も後々苦しいのではないのでしょうか。
大切なのは、

自分の「軸」を持つこと

今自分の持てる能力と資質を的確に把握すること

それらを伝えるための術を身につけること

その上で相手に誠実に全力で伝えること

そんな自分を見てもらって、「偽りのない自分」で進んだ道で、自分のできることを精一杯やる。

それが幸せにつながると思います。

そんな価値を語り続け、また「幸せの感受性」を高める活動を続けたいと思います。

就活は恋愛と同じ！？

<http://www.zkaiblog.com/histaff/53116>

幸せな人がしないこと。

<http://www.zkaiblog.com/histaff/53125>

先生のための初級 ICT 教育講座 Vol.1 「教育現場で iPad が選ばれる 5 つの理由」

<http://ict-enews.net/zoomin/ict-koza01/>

リクルート創業者江副浩正の遺した「マネージャーに贈る言葉 20 章」が現代のビジネスパーソンの中で話題に

[http://matome.naver.jp/odai/2136046847935440001?fb_action_ids=10201264720658869
&fb_action_types=og.likes](http://matome.naver.jp/odai/2136046847935440001?fb_action_ids=10201264720658869&fb_action_types=og.likes)

<http://growthhack.sirok.co.jp/growthhacks/presentation-tips/>

GEのトップリーダーは、教育と学習を同時に行う | HBR.ORG 翻訳リーダーシップ記事
<https://newspicks.com/news/538572/>

「完璧すぎてやべえwwwwww」パワポを使ってプレゼンで煽るプロレスラー
http://news.aol.jp/2014/07/23/bzcs_ppt/

Facebookでもアカウント乗っ取り事件
<http://www.yomiuri.co.jp/it/security/goshinjyutsu/20140718-OYT8T50199.html>

会社や体育会等に関わらず、どんな組織であっても年功序列の「タテの関係」ではなく、「ヨコの関係」でのつながり、支援が重要だと思います。

特に、教員と生徒、上司と部下、先輩と後輩というような「タテの関係」をイメージするときの「上の立場」の人間が意識すべきことだと思っています。

「ヨコの関係」でつながり、支援し合うためには、多様性の価値に気付き、それを活かそうという心の構えが必要です。

単純に言えば、

自分にできることで周囲を支援する（ただし、内発的であることと、過剰な負荷がかからないように注意）

自分にできないことは、できる人をお願いをする（相手への敬意を持って、年齢、立場に関係なく）

感謝する（ただし、「お互い様」の気持ちも重要）
ということになるでしょう。

体育会経験者の僕が会社で気づいた4つのこと
http://www.huffingtonpost.jp/ichiro-wada/taiikukaikei_b_5624068.html

明日は『学び合い』の研修会です。

資料準備に丸3日かかりました。

この後、少し修正をかけて完成の予定です。

『学び合い』を多くの人に実践してもらうためには、このリンクにあるような、「大義名分

と自分事化」ができ、かつ、「誰でもイメージできる魅力的な像」を提示できることが必要でしょう。

「富士山リーダー」の事例に相当するような表現を自分でも考えてみたいと思います。

<リンク先の内容より抜粋・要約>

優れたメッセージには
情景を思い浮かべられイメージの提示
大義名分と自分事化の両立
の2つの要素が含まれる。

大義名分だけではメンバーを最後まで引っ張れない。
自分事化できたときに、最後まで走り切るエネルギーになる。

そのためには、メンバーに「理解」「納得」だけではなく、「共感」してもらう必要がある。
優れたメッセージは、ある者の共感を得て、さらに他のメンバーに共感を連鎖させていく。

納得させて終わりではない 共感を引き出すリーダーの「魔法の言葉」

<http://diamond.jp/articles/-/54935?display=b>

時代は変わってますね。
他の受験生はライバルではなく、ともに頑張る仲間。
受験は個人戦ではなくてチーム戦。

こういうものも活用して欲しい。
そして同時に、「生身の人間」とのコミュニケーションも大切にして欲しい。
それでしか乗り越えられないことも受験にはたくさんあります。

今井先生、ご紹介ありがとうございました m(_ _)m

「勉強捗る」「人生変わった！」—学習管理 SNS 『Studyplus』 がスゴい。

<http://matome.naver.jp/odai/2136332961703558901>

【8月】

これ、すごいです！

リンク先より引用

彼らはこの技術を利用して、幼生ゼブラフィッシュの脳内ニューロンの80% (80,000ニューロン) をリアルタイムで観察することに成功。

これまでも様々な方法でニューロンの発火の様子がとらえられてきたが、生物が考え、行動する様子をリアルタイムで収められたのはこれが初めてだという。

ゼブラフィッシュの脳内でニューロンの発火をリアルタイムでとらえた動画がすごい!!

<http://irorio.jp/sakiyama/20140731/152137/>

ノートPCは、「知識」獲得のためのツール。
それを使いこなすためには「スキル」が必要。

でも、それをどう使おうとするかは「心の構え」が決める。

教育の目的はどこにあるか。

「心の構え」が備わっていないのに、目先の成果のためにノートPCを配布すれば、それを活用するためのスキルがあればあるほど結果は悪くなる。

「考え方」はマイナスの係数での重み付けがありうる、という話と同じことだと思います。
つまり、ダースベイダーがたくさん生まれるということです。

「何のためにそれを選択するのか」

思考停止することなく、そこそそを突き詰めて考える必要があります。

中学生全員にノートPCを配布した結果、何が起きたのか？

<http://gigazine.net/news/20140731-give-note-pc-all-student/>

こんな方がいたとは知りませんでした。

<リンク先より引用>

上司への「ハウレンソウ（報告、連絡、相談）」禁止

「常に考える」が会社のモットー。

その為ハウレンソウ禁止は、1人ひとりが自ら考える自発性を重視した結果。

鞭(ムチ)が無くとも社員は働く。それを知らないのは“無知”

日本一社員を幸せにする 未来工業社長のホワイトすぎる発言

<http://matome.naver.jp/odai/2>

「面倒くさい」と敬遠されがちな仕事でも、それが貴重な「場」となることもあります。まずは「心の構え」。

それから、この場合には、様々な経験から得られた「スキル」を活用していく必要もあります。

「皆が幸せ」の対極にあるような世界をいかに「皆が幸せ」の世界にしていくのか。PTA は、このような根本的な課題に真正面から向き合って成長できる場なのかもしれません。

<リンク先より引用（一部改変）>

●なぜ「MBA より PTA」か？

基本的にロジックよりも現場や実践の方が大切。

MBA に関しても、机上の空論をやっているひまがあったら、PTA や地域活動をやったほうが、よっぽどビジネススキルが高まる。

コミュニケーションスキルが高まる。

PTA は、多数の母ちゃんたち、地域の長老たち、そして先生たちの集まりで、そんな「人種のるつぼ」を相手に、あれこれ議論して、話を前に進めていかなきゃいけない。

この経験は、机上の空論では絶対に得られない。

●目指すことを、はっきりさせる必要がある

「前年どおり」が目的化しやすいので、常に「何をめざすか」を掲げることは、すごく大切。

ふつうの企業は、お客さまに価値を提供しないとお金がもらえないが、PTA は黙っていても会費が入ってくる。

だったら「何事もなくやりすごしたほうが勝ち」ということで、「前例踏襲」になりやすい。

ドラッカーも、著書『非営利組織の経営』（ダイヤモンド社）のなかで、「非営利組織こそ、何のためにその組織が存在していて、われわれは何をやる人たちなのかをちゃんと決めなさい」ということを、はっきり書いている。

企業よりも目的を見失いやすい組織だからこそ、敢えてそこをよく確認する必要がある。

サイボウズ式：MBA より PTA！ 本物の仕事力を鍛えるのに PTA 活動が適している理由
http://www.huffingtonpost.jp/cybozu/mba-pta_b_5636709.html

本当に大事なことは何か。

「目先の勝利」のためではなく、「一生涯にわたる幸せ」につながる営みになっているか。

小学生のサッカークラブでも危機感を持って動いている人がいます。
高校も、大学受験という目先の勝利のためだけに一喜一憂しないことが重要だと思います。

リンク先より引用

参加者の中には、サッカーの勉強を一生懸命して戦術論では負けませんよ、という人も結構いるんです。でも、ジュニア年代に大事なのはコーチングのスキルではなく、その前の部分、コーチングの対象の子供なんです。僕らが学ばなきゃいけないのは子供がどういう生き物なのかという部分。逆にその姿勢さえあれば子供の指導は十分にできる。講習会はその部分の指導がすごく薄いと感じた

(中略)

子供は遊びの中の、楽しい、悔しい、から色んなことを覚えていくもの。だから、指導者が教えるというよりも、子供が自分で見つけることが大事なんです。興味を持ってくると本を読んだりもする。教えてもないのに、低学年でもインステップでしっかり蹴られる子供が出てくるんです

子供がサッカーを嫌いになる日 ～市井の指導者からの叫び～ (鈴木康浩)

http://www.huffingtonpost.jp/footballchannel/soccer-child_b_4573190.html

今後の国立大学の入学者選抜の改革の方向について (国大協)

<http://www.zkaiblog.com/histaff/53422>

人は人をいろいろに解釈する。

<http://www.zkaiblog.com/histaff/53445>

【9月】

海外の教育では常識？今、おさえておきたい世界の教育 最新トレンド21選

<http://matome.naver.jp/odai/2140935659816521501>

統計学習にもこういうサイトがありました。

統計学習の指導のために (先生向け)

の中の

学校における統計教育の位置づけ

を見てみると、理科では「物理」と「地学」しか取り上げられていません。

探究活動の際には、生物であっても統計の知識は必要だと思いますが、どうやら統計学習の中心は数学で、理科では「ツール」としての位置づけもほとんど意識されていないようです。

「科学的プロセスの理解」のための統計学習を整理していきたいと思っています。

統計学習サイト

<http://www.stat.go.jp/edu/index.htm>

エコロジー講座7 里山のこれまでとこれから (PDF版)

<http://www.esj.ne.jp/esj/book/ecology07.html>

「振り返り」の材料として、そして「思考停止予防」のために、当初の違和感の中身を明らかにするというのは重要だと思いました。

リンク先にもありますが、採用されたばかり、あるいは異動してきたばかりの人と、率直に「違和感」について話せる機会が持てれば、それはとても意味のある「振り返り」につながるような気がします。

よくある「ゆでガエル」の例えも、実際にはそんなことは起こらないようですが、一つの寓話として考える材料になります。

<リンク先より引用>

あなたが、ある組織に入ったとき、感じた違和感は何ですか？

それは、いつ頃、消え去りましたか？

そして、今、あなた自身は「かつてのあなたが感じた違和感」を「再生産する主体」に変わり果ててはいませんか？

「なんじゃこりゃ！どうなってるんだ、この組織は！」という「違和感」はいつ消えるのか？：中途採用者の記した「違和感ノート」のゆくえはいかに!?

http://www.nakahara-lab.net/blog/2014/09/post_2271.html

「有機化合物の構造と名前を覚えよう」の2014年度版では中身を入れ替えたよ!

<http://takahikonojima.hatenablog.jp/entry/2014-OC100-update>

<リンク先より引用>

決まりきった将来では、脳は活性化されません。
将来がどうなるかわからないからこそ、脳は活性化するのです。

試験でどんな問題が出るかわからなくて不安に感じている人。
実力が十分に発揮されるかわからなくて不安に感じている人。
大丈夫です。
そんなときにこそ、脳は活性化されています。

不安を感じていることで自己嫌悪に陥る必要はありません。
脳は、不安を楽しむようにできているのです。

勉強しても不安が消えない？大丈夫、不安は脳の栄養源なんです。
<http://studyhacker.net/columns/anxiety-nutrition>

TED 日本語 - アレグザンダー・シアラス: 受胎から誕生までを可視化する
<http://digitalcast.jp/v/11203/>

野本さんによる「未来の学校」というイベントレポート。
参考になるデータがありました。
野本さん、ありがとうございます m(_ _)m
「経済格差より時間的ゆとり」というデータは衝撃でした。
また、レポートを読ませていただき、ハタモクという活動に興味が湧きました。

<http://togetter.com/li/721476>
<http://togetter.com/li/721442>

わずか5歳の自閉症の女の子が描く絵が、信じられないほど美しい！
<http://feely.jp/9929/>

『学び合い』は、「全員がわかる授業」のための考え方としても重要ですが、それだけでは
ありません。
僕は、生徒に、教科の内容以外にも、「幸せの感受性を高める心の構え」や、「自由の相互
承認の感度」を伝えたいと思っています。
正確には、「僕はこういうことを伝えたい」ということを伝え、生徒に成長のための適切な
場を提供したいと思っています。
そして、同じような想いでいる多くの方々をつなぎ、目指す教育を実現していきたいと

思っています。

方法は一つではありません。

正解も一つではありません。

だから、方法の"解"を共有することはあまり意味がないかもしれません。

でも、最終的に目指したいゴールは共有できる部分があると思っています。

以下に引用した文章を是非読んで下さい。

そして、興味を持って下さいそうな方にも是非シェアしていただけますと幸いです。

〈リンク先より引用〉

"みなさんが教職を目指し、そして初めて教壇に立ったとき、全員が分かる授業、全員が安心できるクラスを願っていたと思います。しかし、1年もたたずに、「それは理想論」と思ったのではないのでしょうか？それは私もです。しかし、それは理想論ではなく、可能です。その可能性を追求してみませんか？それによって、教職を選んだ皆さんの生涯を誇り高く、確信に満ちたものにしてくれます。"

『学び合い』で「一人も見捨てない」という願いの追求を

<http://www.meijitosho.co.jp/eduzine/interview/?id=20140957>